

環境マネジメント

取り組み

システム

状況

37項目の目的・目標はすべて達成

市では、環境保全・環境汚染の予防に配慮した活動を積極的に行っていくため、環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。

平成21年度は、ペットボトルキャップリサイクル事業やごどん回収試験の実施など、37項目の目的・目標に取り組み、すべて達成することが出来ました。昨年度の主な取り組み状況をお知らせします(左表)。

1. 環境と調和した潤いのある街づくりの推進

環境目標	達成状況	評価
環境保全と環境美化に努める	春季と秋季一斉グリーンアップ、河川水水質調査、酸性雪調査、クラス被害対策、不法投棄物撤去ボランティアなどを実施した。	○
公民館で実施する主要な講座や教室の中で環境問題に関する学習を取り入れる	自然観察会(釈迦内公民館) 自然観察会(長木公民館) 花いっぱい運動(花岡公民館)	○
大館市子どもサミットを開催し環境活動項目を決定する	大館市子どもサミットを2回開催し、全校一斉グリーンアップやペットボトルキャップの回収を行い、リサイクル原料で作られたベンチを市内の公共施設に寄贈した。	○
ISO14001 認証取得・維持に関する情報を提供する	内部監査員養成合同研修会、生涯学習フェスティバルへの出席、大館ライトタウンデーの周知、協力依頼などを実施した。	○
合併浄化槽の設置整備補助基数を80基とする	21年度補助基数 87基	○
戸別浄化槽を10基設置する	21年度設置基数 12基	○
公有林の除間伐を41.39ha実施する	除間伐実施面積 41.39ha	○
私有林の除間伐を30ha実施する	除間伐実施面積 30.75ha	○
独鈷中野地区(564戸)の農業集落排水事業の工事を発注する	6工区契約、2工区完成し、供用開始説明会を開催した。	○
公共下水道の普及率を39.6%にする	公共下水道の普及率 39.6%	○
公共下水道の水洗化戸数を9千戸とする	平成21年度末水洗化戸数 9,163戸	○

2. 省資源、省エネ、リサイクルの推進

環境目標	達成状況	評価
一般廃棄物排出量を3万3千kg以下とする	平成21年度排出量 19,289.5kg 13,710.5kg削減	○
電力の使用量を70万kWh以下とする	平成21年度使用量 566,150kWh 133,850kWh削減	○
水の使用量を6千㎡以下とする	平成21年度使用量 4,987㎡ 1,013㎡削減	○
プロパンガス使用量を1,500㎡以下とする	平成21年度使用量 1,041.6㎡ 458.4㎡削減	○
事務用紙の使用量を631万枚以下とする	平成21年度使用量 5,557,398枚 752,602枚削減	○
グリーン購入の推進のため環境物品等の調達割合を90%以上とする	〔件数〕 基準適合 3,375件 62,169,829円 対象 3,440件 62,933,488円 調達率 98% 99%	○
公用車用燃料の使用量を別に管理する公用車を除き、19万5千ℓ以下とする	平成21年度使用量 182,583.6ℓ 12,416.4ℓ削減	○
ボイラー、暖房用重油、灯油使用量を別に管理する施設などを除き、7万ℓ以下とする	平成21年度使用量 22,928.2ℓ 47,071.8ℓ削減	○
ごみ分別、減量を徹底し、21年度のリサイクル率を11.1%とする	平成21年度リサイクル率 12.87%	○
ペットボトルキャップリサイクル運動の拡大	平成21年度回収量 5,241.5kg	○
廃食用油回収事業の実施	平成21年度回収量 45,529ℓ	○
年間で生ごみ、鶏糞を合わせて1,800tを堆肥化する	平成21年度堆肥化量 2,326t	○
選挙用ポスター掲示板を全てリサイクルする	507カ所に設置した選挙用ポスター掲示板は全て再生紙ボードを使用し、使用後はリサイクルされた	○

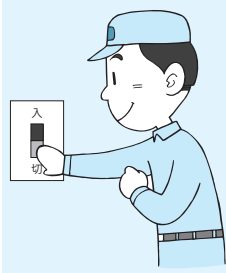
環境マネジメントシステムとは

環境保全に関する取り組みを進めるために、環境に関する方針や目標などを自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」と言います。また、このための工場や事業場内の体制や手続きなどの仕組みのことを「環境マネジメントシステム(EMS)」と言い、この国際規格が「ISO14001」です。

大館市は、平成12年からISO14001

01の認証を受けていますが、認証の取得や維持していくためには、第三者の認証機関による外部監査を受ける必要があります。

環境マネジメントは、事業活動を環境に優しいものに変えていくために効果的な手法で、幅広い組織や事業者が積極的に取り組んでいくことが期待されます。



お問い合わせ

環境課環境係
☎ 43-7048

大館市EMSネットが「内部監査員養成研修会」を開催

大館市EMSネット(ISO14001を取得した市内の企業や行政で構成する組織)では、5月10、11日に内部監査員養成合同研修会を開催しました。研修会には、エヌピーエス(株)、エコシステム秋田(株)、光輪技研大館センター、ニプロフアーマ(株)、大館市役所から17人が参加し、内部監査員の資格を習得しました。

また、市役所の内部監査を活用した実地研修を、5月20日に開催し、ニプロフアーマ(株)、大館ヤクルト販売(株)から参加した9人が、市の内部監査の手順や方法を学びました。

※内部監査は、システムが有効に働いているかを評価する目的で、毎年実施しています。